

小児期の慢性循環器疾患に関する研究

(分担研究：完全大血管転換症その他の手術後遠隔期成績)

高尾 篤良 門間 和夫*

要約：完全大血管転換症に対する心内修復手術後の遠隔期成績から、その管理基準を検討すべきである。私達の病院では1970年代のMustard手術、1980年前後からのSenning手術、1982年以後のJatene手術の生存例が100名以上に達している。また1970年代より三尖弁閉鎖その他に対するFontan手術の生存例も100例に達している。これらの複雑な先天性心疾患の心内修復手術後は、心不全、不整脈、その他特有の問題を持っている。

見出し語：完全大血管転換、三尖弁閉鎖

研究方法：東京女子医科大学日本心臓血圧研究所に於ける完全大血管転換に対する心内修復手術(根治手術)、及び各種の先天性心疾患に対するFontan手術の症例を検討した。

結果：完全大血管転換に対するMustard手術は1969年に第一例が成功し、その後現在迄に30例以上の手術成功例がある。しかし手術後遠隔期には様々な問題があり、遠隔期死亡例もある。遠隔期死亡の原因は、肺高血圧症の残存による心不全、右室の収縮不全や三尖弁閉鎖不全による心不全、上大静脈閉塞、などである。また生存している症例には、洞不全症候群、その他の不整脈が高い頻

度で認められる。

完全大血管転換に対するSenning手術は1980年前後より増加し、その生存例は20例以上にのぼっている。この手術の遠隔期の問題点は、始めは肺静脈閉塞であったが、手術術式の改善により、その頻度は低下した。

完全大血管転換に対するJatene手術は1982年以後100例の生存例を得ている。Jatene手術後の遠隔期の問題点は、肺動脈弁上部狭窄、大動脈弁閉鎖不全、肺高血圧症の残存等である。

Fontan手術は1970年代に三尖弁閉鎖に対して行われ始め、1980年以後は単心室その他の先天性心疾患にも適応が拡大された。私達の病院では

*東京女子医科大学循環器小児科 (Dept. of Pediatric Cardiology, Tokyo Women's

Medical College.)

Fontan手術の生存例が100例に達している。この手術の手術後遠隔期の問題点は、軽度の心不全、不整脈、蛋白喪失性胃腸症等の合併である。この手術の術後の心臓カテーテル検査によると、心係数は2～3 L/min/m²で、心拍出量は軽度に低下している。従って運動能力も正常より低下している。

考察：完全大血管転換の心内修復手術後遠隔期の成績及びFontan手術後遠隔期の成績から、その管理基準を考察すると、心不全や高度の不整脈を合併する場合には治療が必要であり、学校生活の規制はA、B、又はCになる。心不全、不整脈が無く、心臓の大きさも正常の場合には、年1回の観察、学校生活の規制面ではD、又はEとなる。但し必要に応じて、24時間心電図、運動負荷心電図、心エコー図等の検査を行う。

Abstract

Study of Chronic Cardiac Diseases in Childhood.
Long-Term Results Following Intracardiac Repair of Complete
Transposition of Great Vessels and Fontan Procedure.

Atsuyoshi Takao and Kazuo Momma *

Patients with complete transposition of great arteries were followed after Mustard procedure, Senning procedure or Jatene procedure. Obstruction of vena cava, congestive heart failure and arrhythmias were observed following Mustard procedure. Obstruction of pulmonary veins was observed following Senning procedure. Stenosis of main pulmonary artery and aortic regurgitation were observed following Jatene procedure.

Patients with Fontan procedure were followed and congestive heart failure and protein-losing enteropathy were observed.

Criteria of treatment and exercise limitation should be adjusted according to the individual post-operative state.



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:完全大血管転換症に対する心内修復手術後の遠隔期成績から、その管理基準を検討すべきである。私達の病院では 1970 年代の Mustard 手術、1980 年前後からの Senning 手術、1982 年以後の Jatene 手術の生存例が 100 名以上に達している。また 1970 年代より三尖弁閉鎖その他に対する Fontan 手術の生存例も 100 例に達している。これらの複雑な先天性心疾患の心内修復手術後は、心不全、不整脈、その他特有の問題を持っている。